

英語

リスニング、スピーチや長文、会話文の三問構成でリスニングの占める割合が配点でも三分の程度になり、非常に高いのが特徴だ。記号選択ばかりでなくリスニングにも英文で答える問題がある。平成二十三年度は、ボランテア活動についての話についてその内容を答へさせるものだった。

リスニング対策が入試合格の鍵の一つになる。筆記問題では、余暇時間についてのスピーチと、日記と中学生と、留学生ALTの先生との略語についての会話文が出題された。読解力とともに記述力も問われる。これらの対策をたてておく必要がある。

理科

大問四問で、各分野からそれぞれ年度ごとに違う単元が出題される傾向にある。

大問四問で、各分野からそれぞれ年度ごとに違う単元が出題される傾向にある。設定問数は多くないが、出題範囲は広い。科学的な判断や考察を記述する問題などが毎年出題され、作図やグラフを書く問題も出される場合がある。計算問題については、基本公式をおさえておくことが大切だ。

社会

大問二問の構成で、地理・歴史・公民の、それぞれがバランスよく出題されている。

資料から分析、処理し判断する問題が出題され、論述問題もや多い。ここが、点差の開くところである。平成二十三年度は、地理の問題である大問一に多数の地図や資料、グラフが示され、これをもとに考えていく出題だった。地形図などの作図問題もしは出題されている。

知識を統合して学習の中に生かしてゆく力が求められる。平成二十三年度は、地理の問題について対話を重ねて展開する設問があった。比較的基礎的な問題が主だが記述式が多く、作図問題もよく出題されるので、問題集などで慣れておくことが大切だ。

はポスターに言葉を補い、その理由をふまえて書くという設問。あるテーマについて主張や見解を述べるなど様々なスタイルの条件作文が課されることが多く、書か力が求められる。内容は難解ではないが、幅広い総合的な国語力の充実に不可欠である。

大問五問の構成で、問題数は多くないが、小問集合のようないくつかの分野からまんべんなく出題される。平成二十一年度は、テレビなどのカラー画面を構成する赤・緑・青の点についての規則性問題なども出題された。証明問題は全文記述で、数学的な見方や考え方が問われる設問もよく出題される。

リスニングは答えを選ぶ問題や図を用いる問題のほか、聞き取りメモを完成させる問題が出題される。全体としては長文読解問題の比率が高く、筆記では

大問五問で、第一問は小問集合、第二問から生物・地学・化学・物理と各分野ごとの大問が続く。平成二十一年度は、圧力の問題について対話を重ねて展開する設問があった。

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

また、題材を和歌山県の様子からとった問題が例年よく出題され、調べ学習を意識した問題のつくりになっている。知識だけに偏らず、資料などから考察する力も必要だ。

環境や国際社会・現代社会など、現代的な課題や時事問題に関する出題もよく見受けられる。それぞれについて、論述する力をつけておくことが大切である。

大問数は五問で、問題は基礎的なものが多いが、問題数も多く範囲が広い。また、典型的な問題でも、目新しい設定で出題されることがある。解答形式では論述式が非常に多いのも特徴である。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問四問程度の構成で地理・歴史・公民がそれぞれ一問ずつ出題され、さらに選択問題が課される。地理などで写真資料やグラフ、統計などの読み取りなどがしばしば出題されるほか、いずれの分野も枝間が広い範囲にわたる。選択問題は地図の読み取り

大問数は六問で、リスニングは答えを選ぶ問題のほか、内容を聞き取り適切な語句を書き入れる問題などが出題される。筆記は会話文やスピーチなどのやや長い文章で、英問英答や内容一致、日本語記述など幅広い読解力が求められる。自由英作文はなく英問英答形式で書く内容は限定されている。

大問数は五問で、問題数は多くないが、小問集合のようないくつかの分野からまんべんなく出題される。平成二十一年度は、テレビなどのカラー画面を構成する赤・緑・青の点についての規則性問題なども出題された。証明問題は全文記述で、数学的な見方や考え方が問われる設問もよく出題される。

リスニングは答えを選ぶ問題や図を用いる問題のほか、聞き取りメモを完成させる問題が出題される。全体としては長文読解問題の比率が高く、筆記では

大問五問で、第一問は小問集合、第二問から生物・地学・化学・物理と各分野ごとの大問が続く。平成二十一年度は、圧力の問題について対話を重ねて展開する設問があった。

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

また、題材を和歌山県の様子からとった問題が例年よく出題され、調べ学習を意識した問題のつくりになっている。知識だけに偏らず、資料などから考察する力も必要だ。

環境や国際社会・現代社会など、現代的な課題や時事問題に関する出題もよく見受けられる。それぞれについて、論述する力をつけておくことが大切である。

大問数は五問で、問題は基礎的なものが多いが、問題数も多く範囲が広い。また、典型的な問題でも、目新しい設定で出題されることがある。解答形式では論述式が非常に多いのも特徴である。

兵庫

推薦入学・特色選抜・連携型入学選抜の適性検査・面接等が二月十三日（一部では十四日も）に実施される。全日制課程の学力検査は五科目で三月十二日、総合学科の実技試験は十三日に行われる。

大問数は四問で、長文総合問題が二問と古典、韻文が出題される。長文総合では、論説文などの説明的文章と小説または随筆の出題という組み合わせが多い。漢字や語句、

大問一は小問集合、大問二が連立方程式の応用、大問三が関数というような例年類似のパターンで出題され、平成二十三年度は、大問六の平面図形は枝間で相

似の証明が出題された。ここでは大問二だったが、ほぼ全文の記述を求められることもある。大問七は選択問題で、どちらも問題文が長く設定が複雑であるため、

平成二十三年度の選択問題では、宇宙探査機についての対話文またはEメールを題材に、文意を問う問題や語順整理の問題が出された。英文を正確に読み書きする知識とともに、英問英答にも慣れておくことが大切だ。

特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

大問五は一分野・二分野いずれかを選択して答える問題で、平成二十三年度は生物または化学の総合形式の出題だった。環境とエネルギーに関する出題も出される。本年は特に中学校学習指導要領を先行実施する内容も出題範囲に含むことになるので、必ずこれらの範囲からの出題があるものと思える。作図、グラフの設問が出されることも多いので、これらについての確に答へ、論述問題について簡潔にまとめる力を養おう。

傾向と対策

大問数は四問で、長文総合問題が二問と古典、韻文が出題される。長文総合では、論説文などの説明的文章と小説または随筆の出題という組み合わせが多い。漢字や語句、

国語

大問数は四問で、長文総合問題が二問と古典、韻文が出題される。長文総合では、論説文などの説明的文章と小説または随筆の出題という組み合わせが多い。漢字や語句、

数学

大問一は小問集合、大問二が連立方程式の応用、大問三が関数というような例年類似のパターンで出題され、平成二十三年度は、大問六の平面図形は枝間で相

英語

大問数は五問で、問題は基礎的なものが多いが、問題数も多く範囲が広い。また、典型的な問題でも、目新しい設定で出題されることがある。解答形式では論述式が非常に多いのも特徴である。

理科

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

社会

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

国語

大問数は四問で、長文総合問題が二問と古典、韻文が出題される。長文総合では、論説文などの説明的文章と小説または随筆の出題という組み合わせが多い。漢字や語句、

数学

大問一は小問集合、大問二が連立方程式の応用、大問三が関数というような例年類似のパターンで出題され、平成二十三年度は、大問六の平面図形は枝間で相

英語

大問数は五問で、問題は基礎的なものが多いが、問題数も多く範囲が広い。また、典型的な問題でも、目新しい設定で出題されることがある。解答形式では論述式が非常に多いのも特徴である。

理科

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

社会

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

国語

大問数は四問で、長文総合問題が二問と古典、韻文が出題される。長文総合では、論説文などの説明的文章と小説または随筆の出題という組み合わせが多い。漢字や語句、

数学

大問一は小問集合、大問二が連立方程式の応用、大問三が関数というような例年類似のパターンで出題され、平成二十三年度は、大問六の平面図形は枝間で相

英語

大問数は五問で、問題は基礎的なものが多いが、問題数も多く範囲が広い。また、典型的な問題でも、目新しい設定で出題されることがある。解答形式では論述式が非常に多いのも特徴である。

理科

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

社会

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

国語

大問数は四問で、長文総合問題が二問と古典、韻文が出題される。長文総合では、論説文などの説明的文章と小説または随筆の出題という組み合わせが多い。漢字や語句、

数学

大問一は小問集合、大問二が連立方程式の応用、大問三が関数というような例年類似のパターンで出題され、平成二十三年度は、大問六の平面図形は枝間で相

英語

大問数は五問で、問題は基礎的なものが多いが、問題数も多く範囲が広い。また、典型的な問題でも、目新しい設定で出題されることがある。解答形式では論述式が非常に多いのも特徴である。

理科

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

社会

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

国語

大問数は四問で、長文総合問題が二問と古典、韻文が出題される。長文総合では、論説文などの説明的文章と小説または随筆の出題という組み合わせが多い。漢字や語句、

数学

大問一は小問集合、大問二が連立方程式の応用、大問三が関数というような例年類似のパターンで出題され、平成二十三年度は、大問六の平面図形は枝間で相

英語

大問数は五問で、問題は基礎的なものが多いが、問題数も多く範囲が広い。また、典型的な問題でも、目新しい設定で出題されることがある。解答形式では論述式が非常に多いのも特徴である。

理科

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

社会

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

国語

大問数は四問で、長文総合問題が二問と古典、韻文が出題される。長文総合では、論説文などの説明的文章と小説または随筆の出題という組み合わせが多い。漢字や語句、

数学

大問一は小問集合、大問二が連立方程式の応用、大問三が関数というような例年類似のパターンで出題され、平成二十三年度は、大問六の平面図形は枝間で相

英語

大問数は五問で、問題は基礎的なものが多いが、問題数も多く範囲が広い。また、典型的な問題でも、目新しい設定で出題されることがある。解答形式では論述式が非常に多いのも特徴である。

理科

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

社会

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

国語

大問数は四問で、長文総合問題が二問と古典、韻文が出題される。長文総合では、論説文などの説明的文章と小説または随筆の出題という組み合わせが多い。漢字や語句、

数学

大問一は小問集合、大問二が連立方程式の応用、大問三が関数というような例年類似のパターンで出題され、平成二十三年度は、大問六の平面図形は枝間で相

英語

大問数は五問で、問題は基礎的なものが多いが、問題数も多く範囲が広い。また、典型的な問題でも、目新しい設定で出題されることがある。解答形式では論述式が非常に多いのも特徴である。

理科

大問五問で、融合問題や歴史・公民単独の設問などがある。用語などを記述する問題や論述式の問題が多く、用語内容をつかみ正確に理解することが必要である。

**やりたいことに思いっきり打ち込める
それが関学高等部です。**

関西学院高等部

A 方式	<p>〈一般入試〉 英語・国語・数学・面接による選考 (約100名)</p>
B 方式	<p>〈自己推薦入試〉 作文・面接による選考 (約20名)</p>

入試説明会 10月15日(土) 10:00~ 11月5日(土) 10:00~ 場所: 本校にて
保護者・本人など対象は限定しません

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155
TEL 0798-51-0975 (高等部事務室)
URL <http://www.kwansei.ac.jp>

文部科学省 スーパーサイエンスハイスクール指定校

武庫川女子大学附属高等学校

本校独自の3コース制

スーパーサイエンスコース
次代を担う女性研究者・高度技術者の育成をめざす

スーパーイングリッシュコース
国際社会を舞台に活躍できる女性の育成をめざす

インテリジェンスコース
広い視野と深い見識をもった女性の育成をめざす

インテリジェンスコースは、2年から文系、理系、教員養成系、スペシャリティ養成系に分かれます。
詳しい内容は施設見学会・入試説明会でご説明します。是非ご参加ください。

本年度入試説明会・学校見学会のお知らせ

10月15日(土)	第3回入試説明会と個別相談会 ※含:各コースの説明	13:30~16:30
11月12日(土)	文化部発表会参観 第4回入試説明会と個別相談会 ※含:入試問題解説	10:00~16:00 13:30~16:00
11月13日(日)	文化部発表会参観	9:30~16:00
12月3日(土)	第5回入試説明会と個別相談会	13:30~16:30

〒663-8143 兵庫県西宮市枝川町4-16 TEL 0798-47-6436
[テレフォンサービス] 0798-47-9771・9772
ホームページ: <http://www.mukogawa-u.ac.jp/JHS/>
携帯サイト: <http://www.mukogawa-jsh.edu.jp>